

岡井隆の歌業

没二年を偲んで

2021
6.10(木) - 7.25(日)
10:00~17:00

文化のみち二葉館
2階展示室

昨年7月に逝去された歌人・岡井隆氏を偲んで、これまでに刊行された歌集や作品、原稿を展示します。

岡井隆氏は、昭和3(1928)年に名古屋市で生まれました。小学校からは東区主税町で過ごし、旧制愛知一中(現・愛知県立旭丘高等学校)、旧制第八高等学校に通いました。18歳でアララギに入会、医学部在学中には歌誌『未来』の創刊に参加します。その後は、内科医として勤務しながら前衛短歌運動を推進し、塚本邦雄、寺山修司らとともに若くして現代短歌界を牽引しました。

歌集『禁忌と好色』で逍空賞、『親和力』で齋藤茂吉短歌文学賞、『ウランと白鳥』で詩歌文学館賞を受賞。中日新聞や東京新聞では「けさのこぼし」を長年にわたって連載しました。平成5(1993)年に宮中歌会始の選者に就任。これまでの功績・歌業から、平成16(2004)年には旭日小授賞を授与され、平成19(2007)年からは宮内庁和歌御用掛を務めました。

今回の企画展では、氏が試みた斬新なテーマや作品を振り返りながら、その生涯や歌業についてご紹介します。



『宮殿』(沖積舎)



『禁忌と好色』
(不識書院)



『ウランと白鳥』
(短歌研究社)

トークイベント

2021年7月4日(日)
13時30分~15時

第一部では、岡井隆氏のこれまでの作品や歌業について、第二部では、氏の人柄や逸話についてそれぞれお話しいただきます。

◆講演：第一部「岡井隆の歌集」

加藤治郎(歌人)

第二部「岡井隆の後ろ姿」

大辻隆弘(歌人)

◆会場：文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料)

◆定員：30名

※6月18日(金)10時~

文化のみち二葉館に電話申し込み
※新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止または変更になる場合があります。

加藤治郎(かとうじろう)



1959年、名古屋市に生まれる。1983年、未来短歌会に入会、岡井隆に師

事。毎日歌壇選者。歌集に『サニー・サイド・アップ』第32回現代歌人協会賞、『昏睡のパラダイス』(第4回寺山修司短歌賞)、『Confusion』『混乱のひかり』など。

大辻隆弘(おおつじたかひろ)



1960年三重県生。1986年、未来短歌会入会。岡井隆に師事。現在「未来」編集発行人・選者。現代歌人協会会員、現代歌人集会理事、中部日本歌人会副委員長。歌集『水廊』『デプス』『汀暮抄』など、歌書『岡井隆と初期未来』『アララギの脊梁』など。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

「ドニチエッキップ」「一日乗車券」

を利用してご来館の方は入館料割引!

一般200円→160円



名古屋市東区榑木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

https://www.futabakan.jp/

交通のご案内

- なごや観光ルートバスメーグル「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

